

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) DOWAエフテック株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045番地
----	------------------------------	----	--

本票作成	部署名： 管理部
------	----------

主たる業種	分類コード	16	業種名： 化学工業
-------	-------	----	-----------

事業の概要	ボンド用フェライト粉の製造
-------	---------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	柵原工場	岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1089番地
	②	塩田工場	岡山県和気郡和気町塩田314番地
	③	物流センター	岡山県和気郡和気町矢田1004番地

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 27)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	8,699 t CO ₂	9,693 t CO ₂	8,264 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27)年度排出量
	①	柵原工場	9,685 t CO ₂
	②	塩田工場	2 t CO ₂
	③	物流センター	5 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度	～	平成 31 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(27)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	2.1 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 (t/年)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(27)年度	目標年度
		1.005 t CO ₂ /(t)	0.983 t CO ₂ /(t)	0.955 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

削減に影響する、エネルギー効率の高いキルンを導入したが、設計能力が出せておらず、継続して条件調整中である。突発故障低減などによる稼働効率改善により、削減は出来ているが、前出のキルン使用工程では1基運転で賄えず、旧式の2基運転による効率低下もあり、目標には到達できなかった。

【推進体制】

ISO14001（2004）：2004年3月認証取得

部門長会を毎週開催し 燃料(灯油)、電力原単位の削減状況を1回/月報告

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
柵原工場	<p>(27年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー効率を改善するために、新規にNo3アニールキルンを新設 ・アニールキルン2基運転に伴い、運転条件の適正化と銘柄差のバランス調整で削減を図るよう努力 ・高効率エアコン6台更新及び2台新設 ・コンプレッサー1基高効率タイプへ更新 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規に設置した最新型の高効率炉No3アニールキルンの早期運転（条件調整） 及び、既存アニールキルンとの2基運転で生産バランスで削減を図る。 ・乾燥工程において、灯油燃料のバンドドライヤから、温室効果ガス発生の低減の図れるガス燃料のロータリードライヤに更新し、削減を図る。 ・湿式工程の粉碎機の大型化と更新で生産性アップにより削減を図る。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--